

出張報告届

令和6年11月28日

吹田市議会議長様

会派名 吹田党議員団

代表者氏名 後藤恭平

出張者氏名 石川 勝

中西勇太

下記のとおり出張したので届け出ます。

記

出張先	参議院議員会館
期間	令和6年11月20日から11月20日まで1日間
出張の成果	別紙のとおり
備考	「地方創生交付金」についてレクチャー



研修報告書

吹田党議員団

石川 勝

中西勇太

「地方創生交付金」について

1 研修の背景

「地方創生交付金」について来年度予算で倍増が予定されている。最新の検討状況、地方創生交付金の狙いと自治体での活用方法について知ることが肝要であると考え、関係省庁からの研修を受けることとなった。

2 研修の内容

- ・自治体の過疎は田舎だけではなく、今後都会の自治体でも起きてくること
- ・国が一律で課題と対策を示してきたやり方では、人口減少の地方毎の問題に対応が困難であること、自治体毎に事情が異なることから、人口減少、地方創生には地域毎で個別に対応する必要があること
- ・地方創生交付金は分野を問わず使うことができること
- ・デジタル田園都市国家構想交付金のデジタル実装タイプ、地方創生拠点整備タイプ、地方創生推進タイプ、地域産業構造転換インフラ整備推進タイプがあり、それぞれの詳細と採択事例

3 研修からの学びと今後への活用

都市部の自治体であったとしてもブロックチェーンなどの新技術を活用した取り組みへの活用など活用の方法は多岐にわたる。国が打ち出している地方創生の方針に沿った活用による地方自治体の活性化を実現していく必要がある。

国からの援助の終了が事業の終わりとならないことも重要であり、地域毎に個別に合わせ今後を見越した活用が重要である。

都市でも地方でも安心安全で心豊かに暮らせる地域経済社会を創り、人口減少対策につなげることが趣旨とされている。大切な目標を見失わず、地域の人口減少対策に資する取り組みに活用されることが肝要であると考え。

以上